

## 5 雇用・就労について

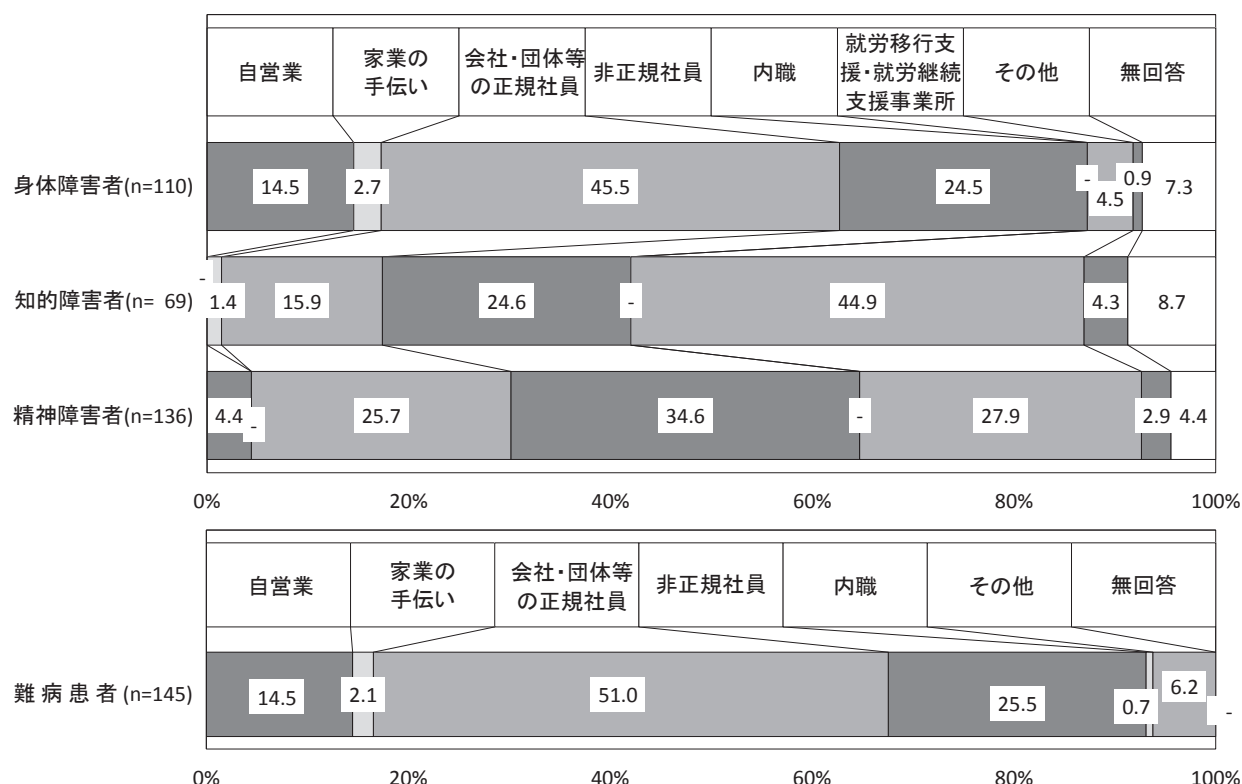
### (1) 就労形態

現在働いている人の就労形態は、身体障害者では「会社・団体等の正規社員」が最も多く 45.5%、次いで「非正規社員」が 24.5%、「自営業」が 14.5%となっている。

知的障害者では、「就労移行支援・就労継続支援事業所」が最も多く 44.9%、次いで「非正規社員」が 24.6%、「会社・団体などの正規社員」が 15.9%で続いている。

精神障害者では、「非正規社員」が最も多く 34.6%、次いで「就労移行支援・就労継続支援事業所」が 27.9%、「会社・団体等の正規社員」が 25.7%で続いている。

難病患者では、「会社・団体等の正規社員」が最も多く 51.0%、次いで「非正規社員」が 25.5%、「自営業」が 14.5%となっている。



※ベース：就労者

### 【前回調査との比較】

(単位：%)

区分		1位	2位	3位
身体障害者	今回 (n=110)	会社・団体等の正規社員 (45.5)	非正規社員 (24.5)	自営業 (14.5)
	前回 (n=302)	会社・団体等の正規社員 (46.0)	非正規社員 (22.8)	自営業 (17.2)
知的障害者	今回 (n=69)	就労移行支援・就労継続支援事業所 (44.9)	非正規社員 (24.6)	会社・団体等の正規社員 (15.9)
	前回 (n=127)	就労移行支援・就労継続支援事業所 (49.6)	非正規社員 (22.8)	会社・団体等の正規社員 (15.7)
精神障害者	今回 (n=136)	非正規社員 (34.6)	就労移行支援・就労継続支援事業所 (27.9)	会社・団体等の正規社員 (25.7)
	前回 (n=55)	就労移行支援・就労継続支援事業所 (52.7)	非正規社員 (23.6)	会社・団体等の正規社員 (10.9)

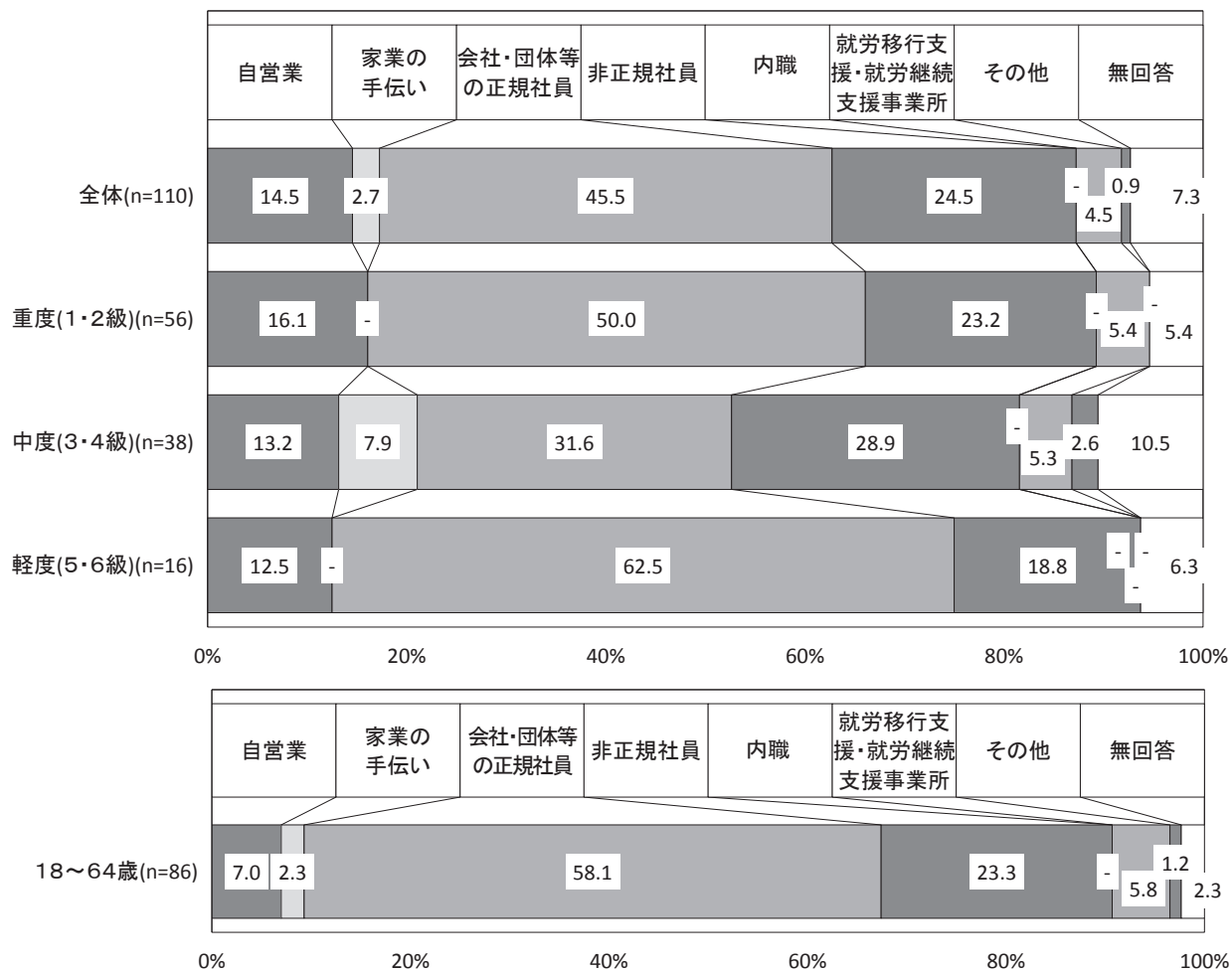
※ベース：就労者

## 【身体障害者】

障害の程度別にみると、重度（1・2級）に比べて中度（3・4級）では「会社・団体等の正規社員」の割合が低下し、「非正規社員」の割合が高くなっており、軽度（5・6級）では「会社・団体等の正規社員」が多く62.5%となっている。

年齢別にみると、18～64歳では「会社・団体等の正規社員」（58.1%）が多い。

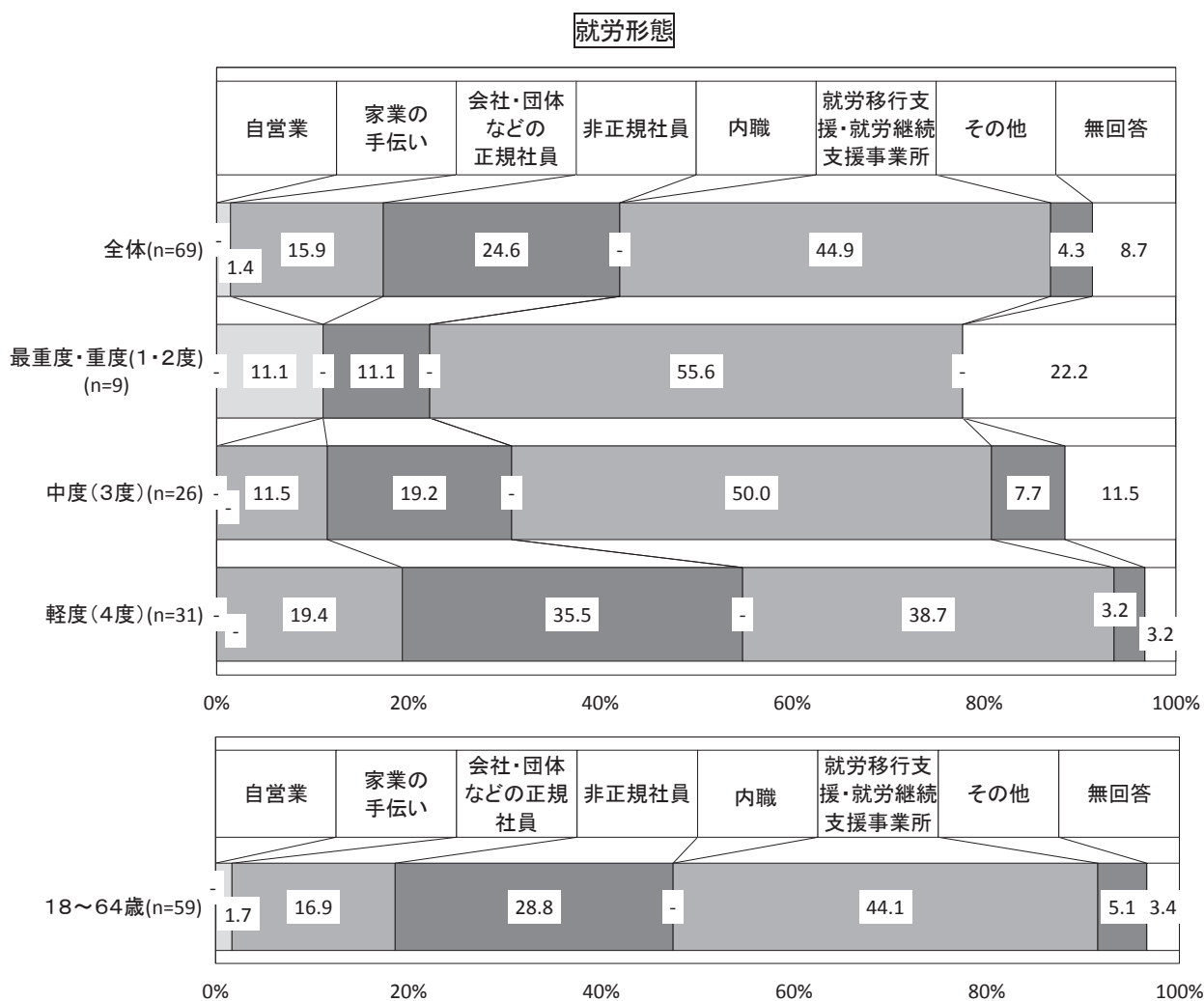
就労形態



※ベース：就労者

## 【知的障害者】

障害の程度別にみると、程度にかかわらず「就労移行支援・就労継続支援事業所」が最も多い。また、軽度（4度）の人ほど「会社・団体などの正規社員」「非正規社員」の割合が高くなっている。年齢別にみると、18～64歳では全体とほぼ同様の傾向を示している。

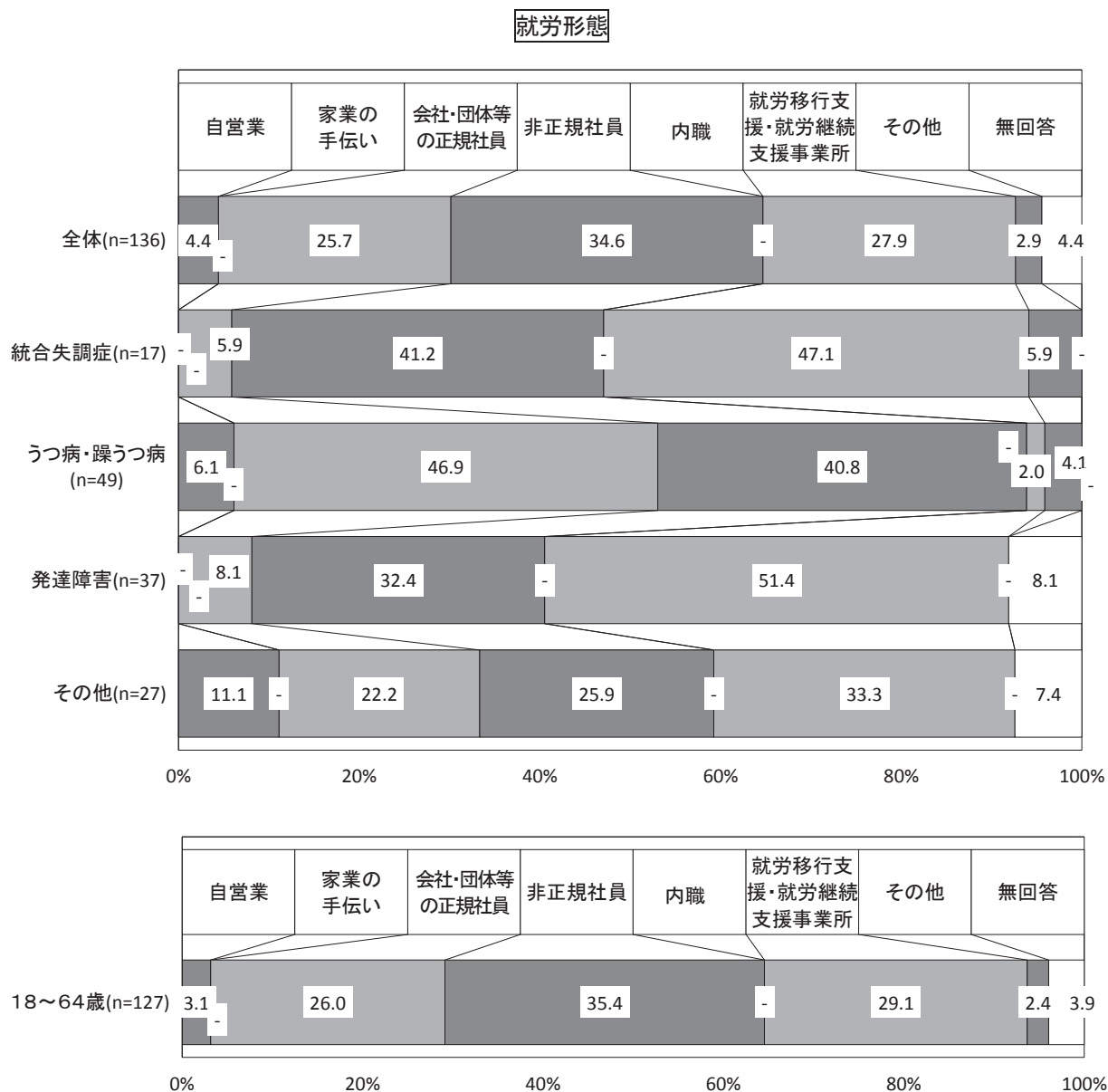


※ベース：就労者

## 【精神障害者】

診断名別にみると、うつ病・躁うつ病と診断されている人では「会社・団体等の正規社員」、「非正規社員」が多く、発達障害と診断されている人は「就労移行支援・就労継続支援事業所」が多くなっている。

年齢別にみると、18～64歳では全体とほぼ同様の傾向を示している。



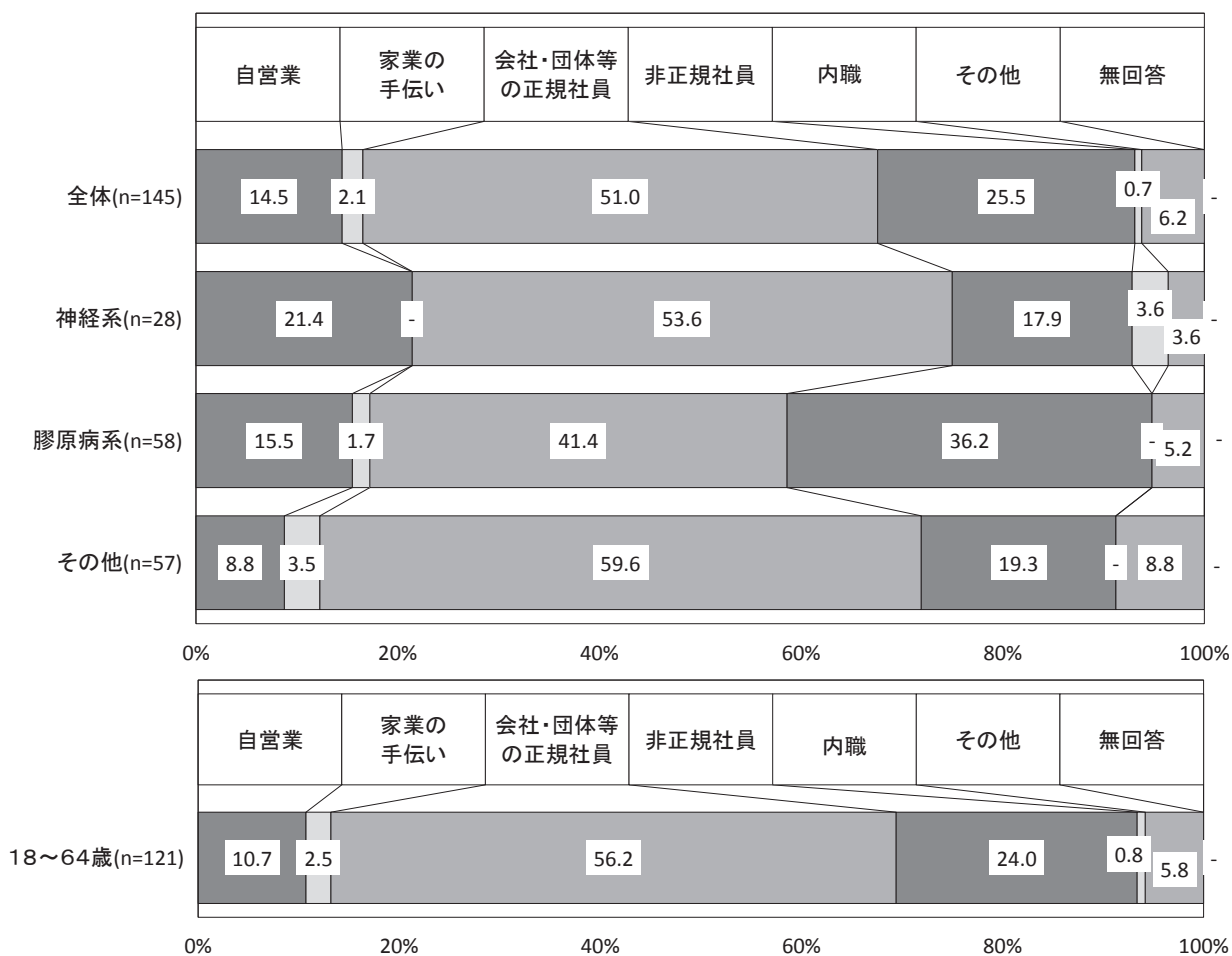
※ベース：就労者

### 【難病患者】

疾病系統別にみると、膠原病系では「非正規社員」（36.2%）が多い。

年齢別にみると、18～64歳では「会社・団体等の正規社員」（56.2%）が多い。

就労形態



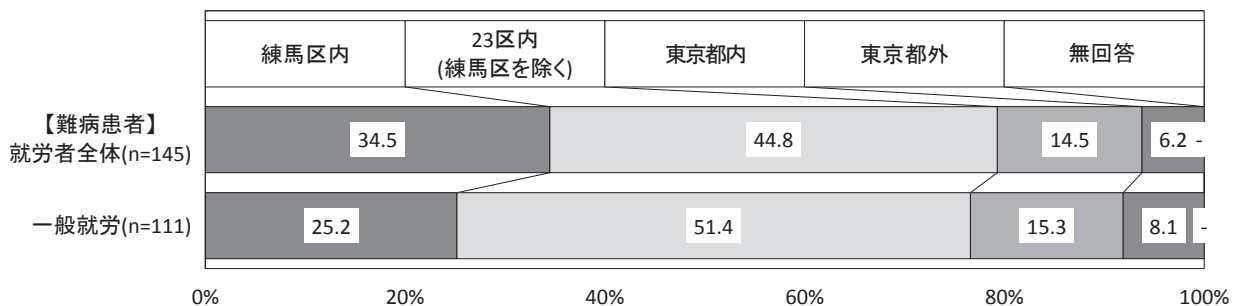
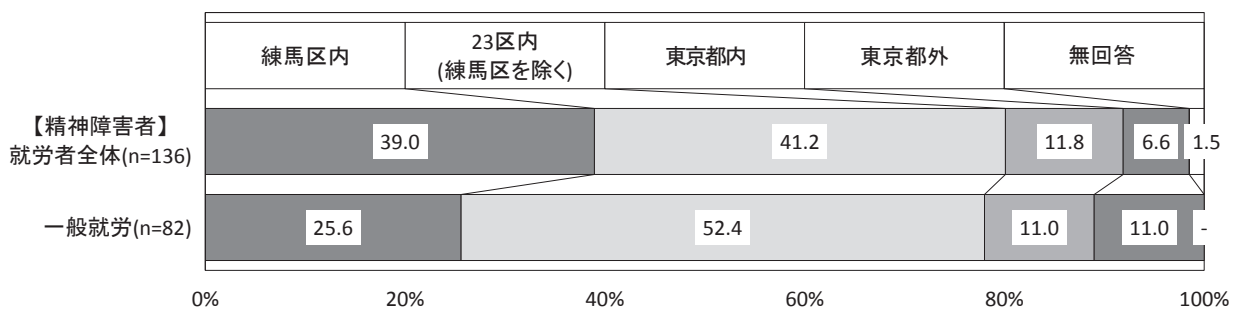
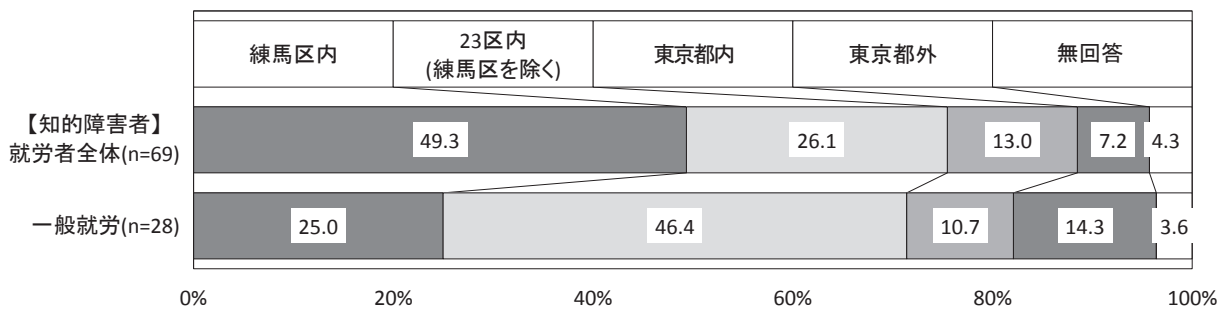
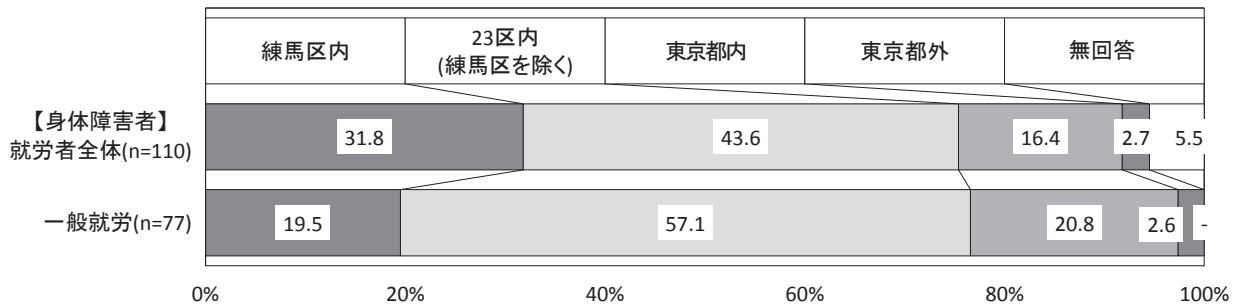
※ベース：就労者

## (2) 職場の所在地

職場の所在地は、身体障害者、精神障害者、難病患者では「23区内（練馬区を除く）」が最も多くそれぞれ4割を超えており、「練馬区内」と回答した人も含めると、「練馬区を含む23区内」がそれぞれ8割前後を占めている。

知的障害者では、「練馬区内」が最も多く49.3%、「23区内（練馬区を除く）」（26.1%）も含めると、「練馬区を含む23区内」が75.4%となっている。

一般就労（「会社・団体等の正規社員」「非正規社員」の合計）では、身体障害者、精神障害者、難病患者ともに「23区内（練馬区を除く）」が多く5割～約6割を占めており、このうち、身体障害者、難病患者では「東京都内」も全体の割合を上回っている。



※ベース：就労者

## 【前回調査との比較】

(単位：%)

区 分		1 位	2 位	3 位
身 体 障 害 者	今 回 (n=110)	23 区内 (練馬区を除く) (43.6)	練馬区内 (31.8)	東京都内 (16.4)
	前 回 (n=302)	東京都内 (53.0)	練馬区内 (36.1)	東京都外 (7.3)
知 的 障 害 者	今 回 (n=69)	練馬区内 (49.3)	23 区内 (練馬区を除く) (26.1)	東京都内 (13.0)
	前 回 (n=127)	練馬区内 (55.1)	東京都内 (25.2)	東京都外 (11.0)
精 神 障 害 者	今 回 (n=136)	23 区内 (練馬区を除く) (41.2)	練馬区内 (39.0)	東京都内 (11.8)
	前 回 (n=55)	練馬区内 (63.6)	東京都内 (29.1)	東京都外 (5.5)

※ベース：就労者

## (3) 1年間の就労収入

1年間の就労収入は、身体障害者、精神障害者、難病患者ともに「100万円～300万円未満」が最も多くそれぞれ33.6%、26.5%、31.0%となっている。

知的障害者では、「5万円未満」が24.6%、「5万円～20万円未満」が21.7%となっており、20万円未満が46.3%である。

(単位：%)

区 分	身体障害者 (n=110)	知的障害者 (n=69)	精神障害者 (n=136)	手帳所持者	難病患者 (n=145)
				(n=56)	
5万円未満	3.6	24.6 (1位)	14.0 (3位)	19.6 (2位)	0.7
5万円～20万円未満	4.5	21.7 (3位)	11.0	7.1	6.2
20万円～50万円未満	1.8	7.2	5.9	8.9	2.1
50万円～100万円未満	10.9 (3位)	15.9	14.7 (2位)	16.1 (3位)	7.6
100万円～300万円未満	33.6 (1位)	24.6 (1位)	26.5 (1位)	25.0 (1位)	31.0 (1位)
300万円～500万円未満	20.9 (2位)	—	11.0	10.7	25.5 (2位)
500万円～700万円未満	8.2	—	7.4	1.8	13.1 (3位)
700万円以上	8.2	—	3.7	1.8	9.0
収入はない	2.7	1.4	2.9	7.1	2.8
無回答	5.5	4.3	2.9	1.8	2.1

※ベース：就労者

#### (4) 仕事をする上での不安や不満（複数回答）

仕事をする上での不安や不満は、身体障害者では「収入が少ない」が最も多く 35.5%となっている。また、「特に不安や不満はない」が 28.2%である。

知的障害者では、「収入が少ない」（40.6%）、「給料がふえない」（20.3%）となっている。なお、「特に不安や不満はない」は 34.8%である。

精神障害者も、「収入が少ない」が最も多く 41.2%、次いで「人間関係が苦手」が 38.2%で続いている。

難病患者では、「収入が少ない」が最も多く 34.5%、次いで「難病への理解が足りない」が 22.1%となっている。なお、「特に不安や不満はない」は 29.0%である。

(単位：%)

区 分	身体障害者 (n=110)	知的障害者 (n=69)	精神障害者 (n=136)	難病患者 (n=145)
収入が少ない	35.5 (1位)	40.6 (1位)	41.2 (1位)	34.5 (1位)
仕事が難しい	1.8	2.9	6.6	5.5
仕事がきつい	10.0	10.1	16.2	20.0
自分にあった内容の仕事がない	8.2	4.3	11.0	4.8
1日の就労時間が長い	12.7	13.0	8.8	18.6
1週間の就労日数が多い	6.4	4.3	5.9	9.7
障害（精神疾患/難病）への理解が足りない	18.2 (3位)	14.5	20.6 (3位)	22.1 (3位)
人間関係が苦手	9.1	8.7	38.2 (2位)	8.3
職場での身分が不安定	6.4	17.4	19.1	6.9
トイレなど障害者用の設備が十分でない	—	—	2.9	6.9
昇給や昇進が平等ではない	4.5	20.3 (3位)	10.3	9.0
通勤が大変	16.4	8.7	19.1	14.5
その他	7.3	4.3	5.9	6.9
特に不安や不満はない	28.2 (2位)	34.8 (2位)	16.9	29.0 (2位)
無回答	4.5	5.8	4.4	2.8

※ベース：就労者

#### 【前回調査との比較】

(単位：%)

区 分		1 位	2 位	3 位
身 体 障 害 者	今 回 (n=110)	収入が少ない (35.5)	特に不安や不満はない (28.2)	障害への理解が足りない (18.2)
	前 回 (n=302)	収入が少ない (31.1)	特に不安や不満はない (29.8)	通勤が大変 (13.2)
知 的 障 害 者	今 回 (n=69)	収入が少ない (40.6)	特に不安や不満はない (34.8)	昇給や昇進が平等ではない (20.3)
	前 回 (n=127)	収入が少ない (39.4)	特に不安や不満はない (35.4)	人間関係が苦手 (7.9)
精 神 障 害 者	今 回 (n=136)	収入が少ない (41.2)	人間関係が苦手 (38.2)	障害への理解が足りない (20.6)
	前 回 (n=55)	収入が少ない (45.5)	人間関係が苦手 (36.4)	職場での身分が不安定 (18.2)

※ベース：就労者

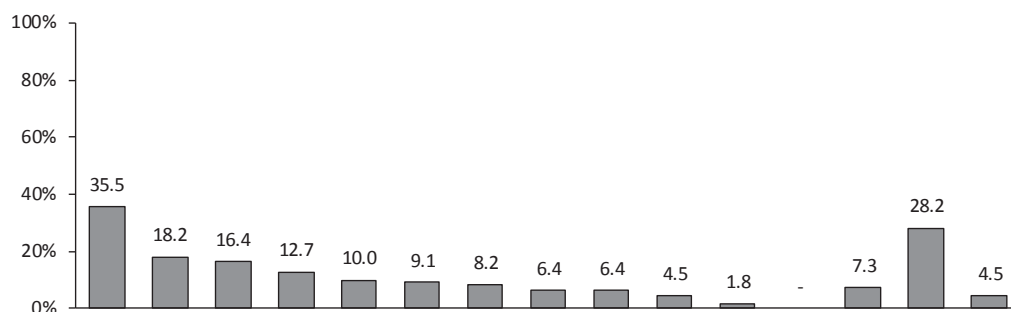


## 【身体障害者】

障害の程度別にみると、程度にかかわらず「収入が少ない」が最も多い。

就労形態別にみると、「会社・団体等の正規社員」の場合では、「特に不安や不満はない」(34.0%)が多い中、「1日の就労時間が長い」(18.0%)、「仕事がつい」(16.0%)ことをあげる人も多い。

仕事をする上での不安や不満



【障害の程度別】	n	1	7	12	5	3	8	4	6	9	11	2	10	13	14	15
		収入が少ない	障害への理解が足りない	通勤が大変	1日の就労時間が長い	仕事がつい	人間関係が苦手	が自分にあつた内容の仕事	1週間の就労日数が多い	職場での身分が不安定	昇給や昇進が平等ではない	仕事が難しい	トイレなど障害者用の設備が十分でない	その他	特に不安や不満はない	無回答
0 全体	110	35.5	18.2	16.4	12.7	10.0	9.1	8.2	6.4	6.4	4.5	1.8	-	7.3	28.2	4.5
1 重度(1・2級)	56	35.7	21.4	21.4	7.1	8.9	5.4	7.1	3.6	7.1	7.1	-	-	7.1	28.6	5.4
2 中度(3・4級)	38	36.8	13.2	13.2	18.4	13.2	5.3	13.2	10.5	2.6	-	2.6	-	7.9	31.6	5.3
3 軽度(5・6級)	16	31.3	18.8	6.3	18.8	6.3	31.3	-	6.3	12.5	6.3	6.3	-	6.3	18.8	-

【就労形態別】

1 自営業	16	56.3	12.5	6.3	6.3	-	6.3	12.5	-	-	-	6.3	-	-	25.0	12.5
2 会社・団体等の正規社員	50	28.0	16.0	18.0	18.0	16.0	10.0	2.0	10.0	6.0	4.0	-	-	6.0	34.0	2.0
3 非正規社員	27	29.6	25.9	14.8	7.4	7.4	14.8	11.1	3.7	14.8	11.1	3.7	-	7.4	22.2	3.7
4 就労移行支援・就労継続支援事業所	5	80.0	20.0	40.0	-	-	-	40.0	20.0	-	-	-	-	20.0	-	-

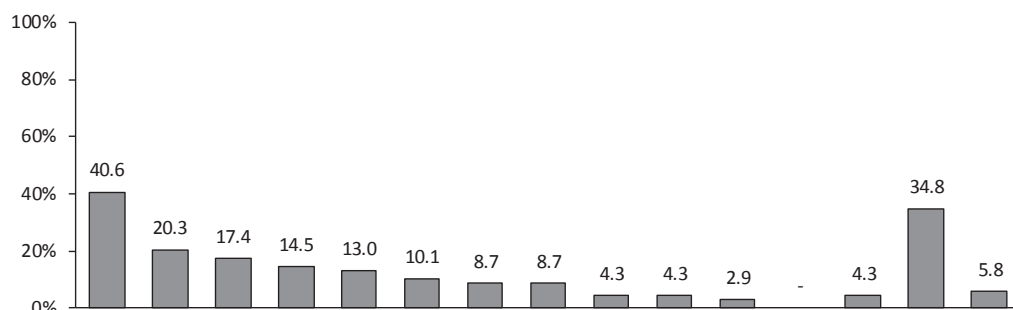
※ベース：就労者

## 【知的障害者】

障害の程度別にみると、程度にかかわらず「収入が少ない」が多くなっているが、軽度（4度）では「特に不安や不満はない」が最も多くなっている。

就労形態別にみると、「就労移行支援・就労継続支援事業所」の場合では「収入が少ない」が多い。

仕事をする上での不安や不満



【障害の程度別】	n	1	11	9	7	5	3	8	12	4	6	2	10	13	14	15
		収入が少ない	給料がふえない	か今の職場でずっと働ける	か障害のことをなかなかわ	1日の仕事時間が長い	仕事がつきつい	職場の人たちとうまくい	通うのがたいへん	がないにあってた内容の仕事	1週間の仕事日数が多い	仕事がつまみ	いトイレなどがつかいにく	その他	特に不安や不満はない	無回答
0 全体	69	40.6	20.3	17.4	14.5	13.0	10.1	8.7	8.7	4.3	4.3	2.9	-	4.3	34.8	5.8
1 最重度・重度 (1・2度)	9	44.4	22.2	11.1	22.2	22.2	11.1	11.1	-	-	11.1	-	-	-	11.1	11.1
2 中度 (3度)	26	53.8	26.9	15.4	15.4	11.5	3.8	7.7	15.4	3.8	-	7.7	-	7.7	26.9	3.8
3 軽度 (4度)	31	32.3	16.1	22.6	12.9	9.7	16.1	9.7	3.2	6.5	3.2	-	-	3.2	48.4	3.2

### 【就労形態別】

就労形態	n	1	11	9	7	5	3	8	12	4	6	2	10	13	14	15
1 会社・団体等の正規社員	11	18.2	18.2	9.1	9.1	18.2	9.1	-	9.1	-	9.1	-	-	-	45.5	9.1
2 非正規社員	17	23.5	11.8	35.3	11.8	11.8	17.6	11.8	11.8	-	5.9	-	-	-	41.2	5.9
3 就労移行支援・就労継続支援事業所	31	54.8	32.3	9.7	16.1	9.7	6.5	12.9	9.7	9.7	-	3.2	-	6.5	29.0	6.5

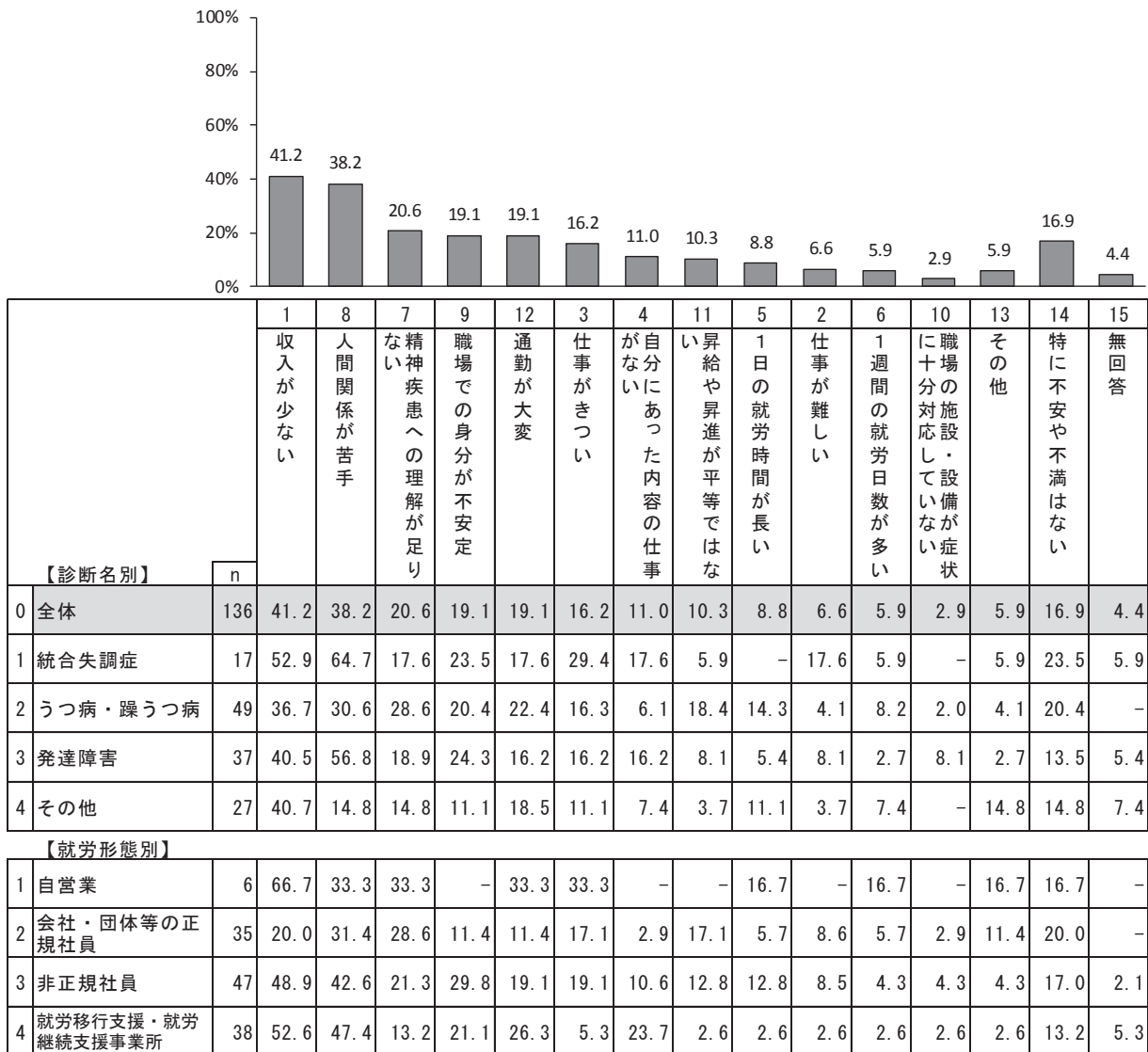
※ベース：就労者

## 【精神障害者】

診断名別にみると、統合失調症、発達障害と診断されている人では「人間関係が苦手」が多くそれぞれ6割前後を占めている。

就労形態別にみると、「非正規社員」の場合では、「収入が少ない」（48.9%）、「人間関係が苦手」（42.6%）、「職場での身分が不安定」（29.8%）が多く、「就労移行支援・就労継続支援事業所」の場合では、「収入が少ない」（52.6%）、「人間関係が苦手」（47.4%）に加えて、「通勤が大変」（26.3%）、「自分に合った内容の仕事がない」（23.7%）をあげる人も多くなっている。

仕事をする上での不安や不満



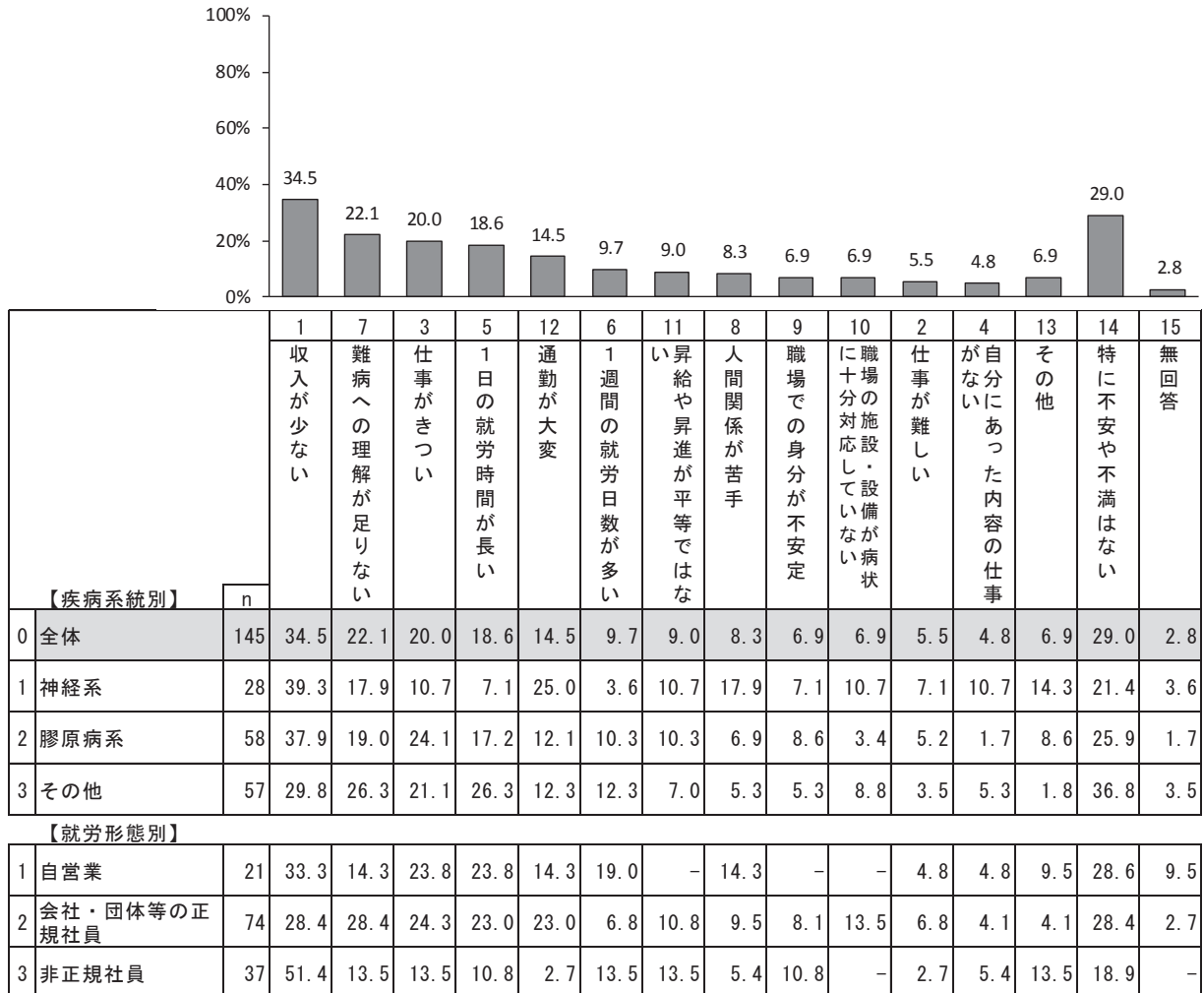
※ベース：就労者

## 【難病患者】

疾病系統別にみると、神経系では「通勤が大変」（25.0％）をあげる人が多くなっている。

就労形態別にみると、「会社・団体等の正規社員」の場合では、「難病への理解が足りない」（28.4％）、「仕事がつい」（24.3％）が多くなっている。「非正規社員」の場合では、「収入が少ない」が最も多く51.4％となっている。

仕事をする上での不安や不満

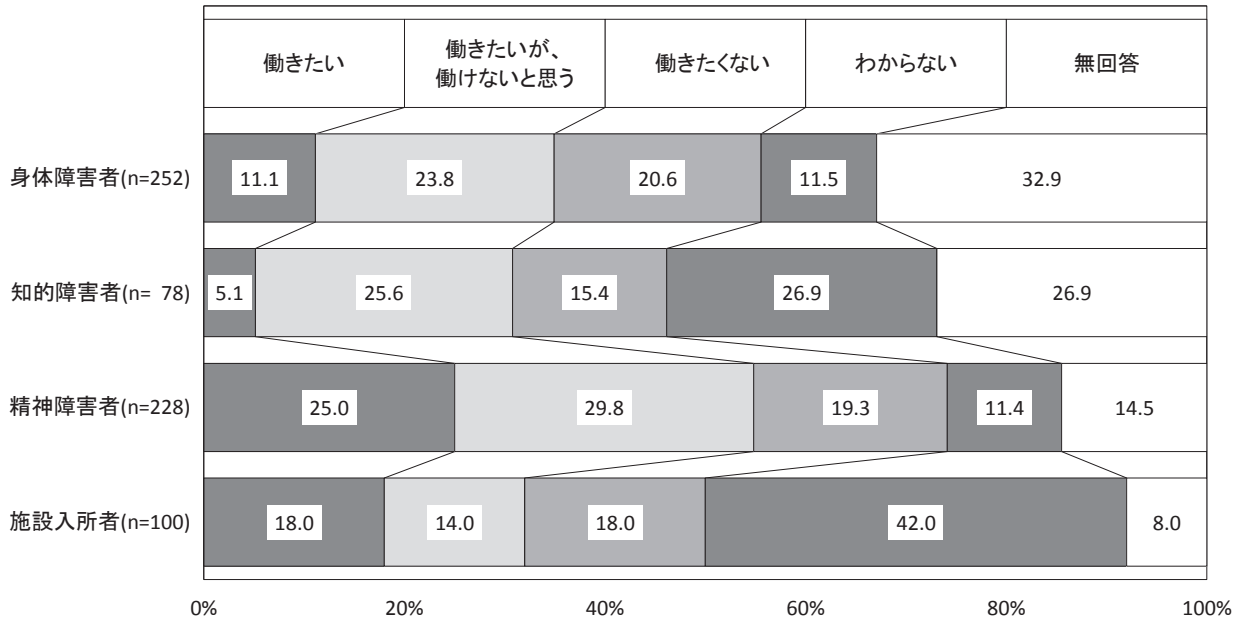


※ベース：就労者

## (5) 今後の就労意向

### ① 今後の就労意向

現在働いていない人の今後の就労意向は、「働きたい」と「働きたいが働けないと思う」を加えた就労意向のある人の割合が、身体障害者では34.9%、知的障害者では30.7%、精神障害者では54.8%、施設入所者では32.0%となっている。



※ベース：非就労者

### 【前回調査との比較】

(単位：%)

区分		1位	2位	3位
身体障害者	今回 (n=252)	働きたいが、働けないと思う (23.8)	働きたくない (20.6)	わからない (11.5)
	前回 (n=1,679)	働きたくない (23.3)	働きたいが、働けないと思う (20.9)	働きたい (9.2)
知的障害者	今回 (n=78)	わからない (26.9)	働きたいが、働けないと思う (25.6)	働きたくない (15.4)
	前回 (n=220)	働きたい (20.9)	働きたいが、働けないと思う (20.0)	わからない (14.1)
精神障害者	今回 (n=228)	働きたいが、働けないと思う (29.8)	働きたい (25.0)	働きたくない (19.3)
	前回 (n=246)	働きたいが、働けないと思う (38.6)	働きたい (23.2)	わからない (14.6)
施設入所者	今回 (n=100)	わからない (42.0)	働きたい (18.0)	働きたくない (18.0)
	前回 (n=94)	働きたくない (33.0)	働きたい (29.8)	働きたいが、働けないと思う (26.6)

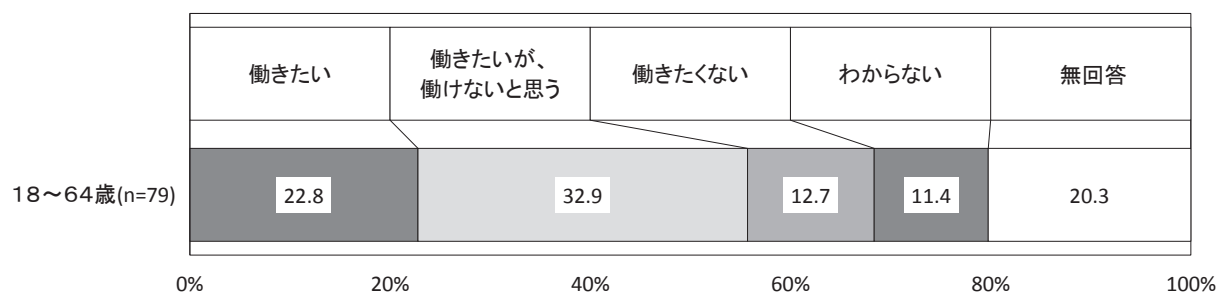
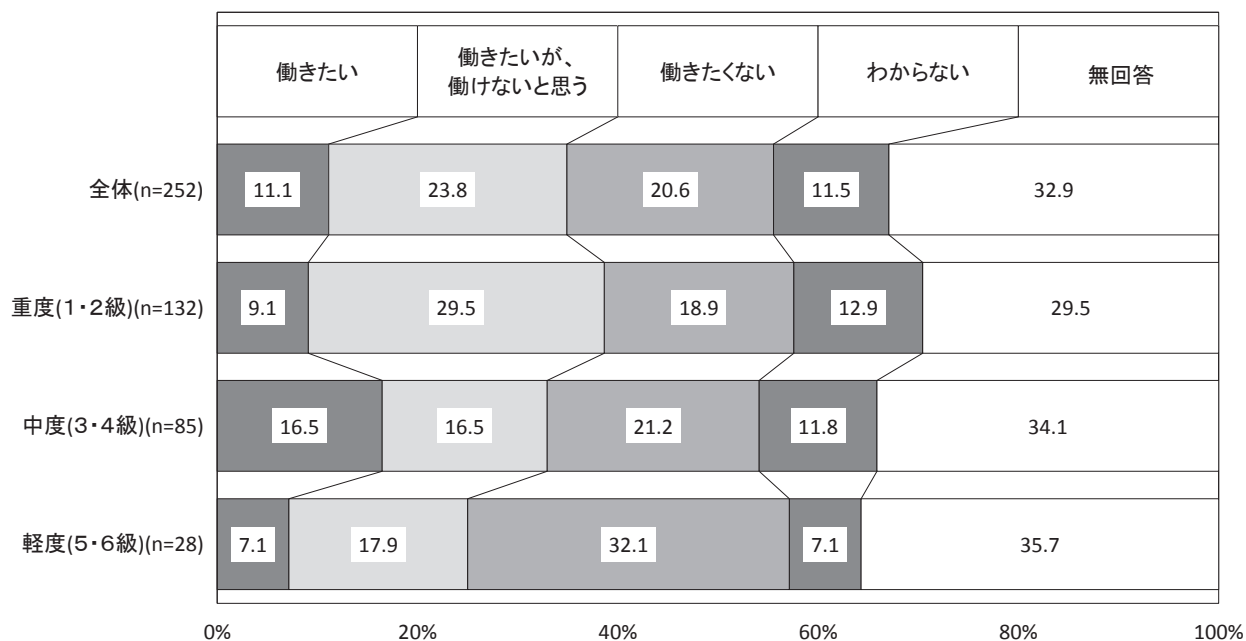
※ベース：非就労者

### 【身体障害者】

障害の程度別にみると、重度（1・2級）の人で「働きたいが、働けないと思う」と回答しているのは、29.5%である。

年齢別にみると、18～64歳では就労意向のある人が約6割を占めている。

#### 今後の就労意向

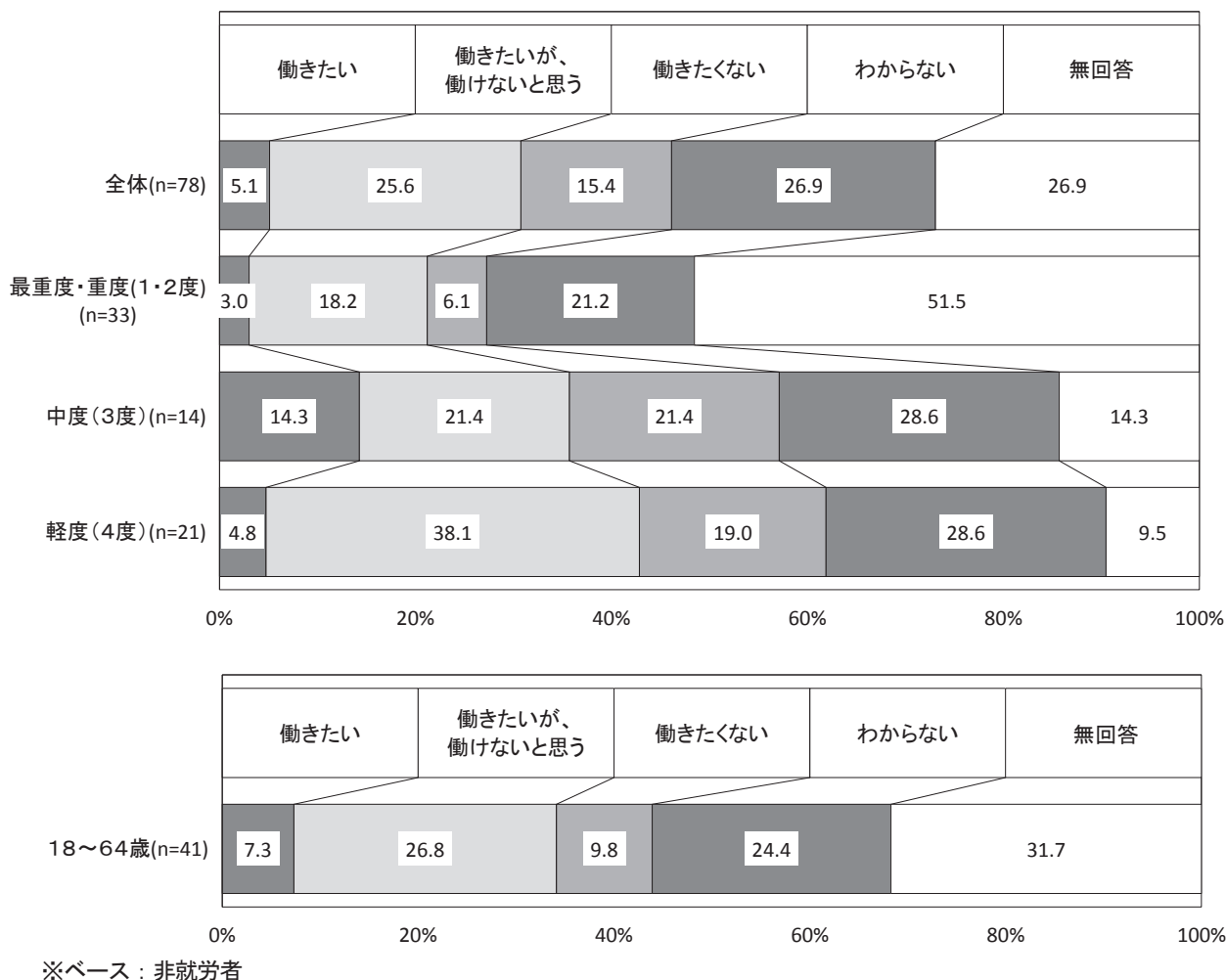


※ベース：非就労者

## 【知的障害者】

障害の程度別にみると、軽度（4度）の人ほど就労意向のある人の割合が高くなる傾向がみられる。年齢別にみると、18～64歳では就労意向のある人が34.1%となっている。

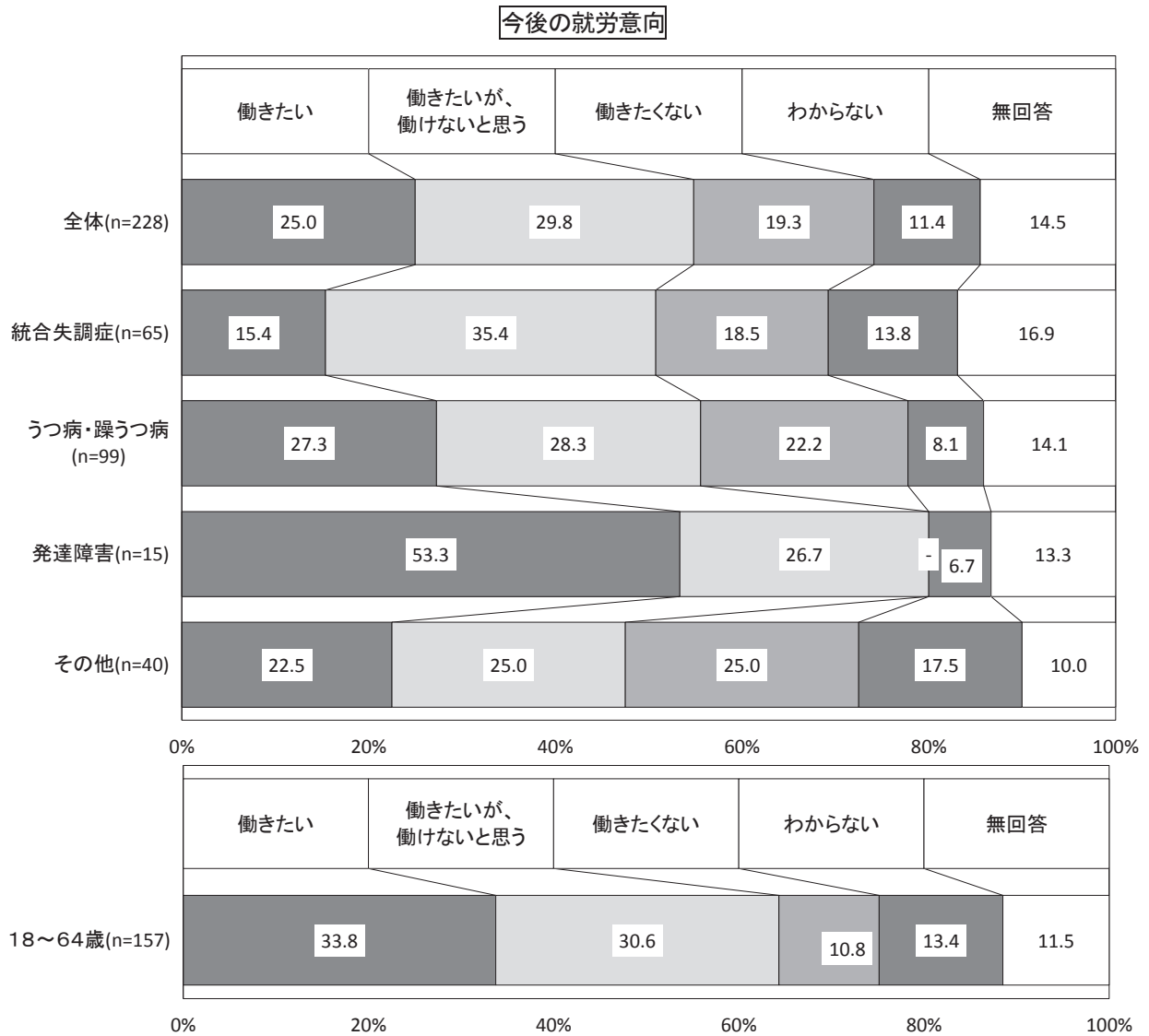
今後の就労意向



### 【精神障害者】

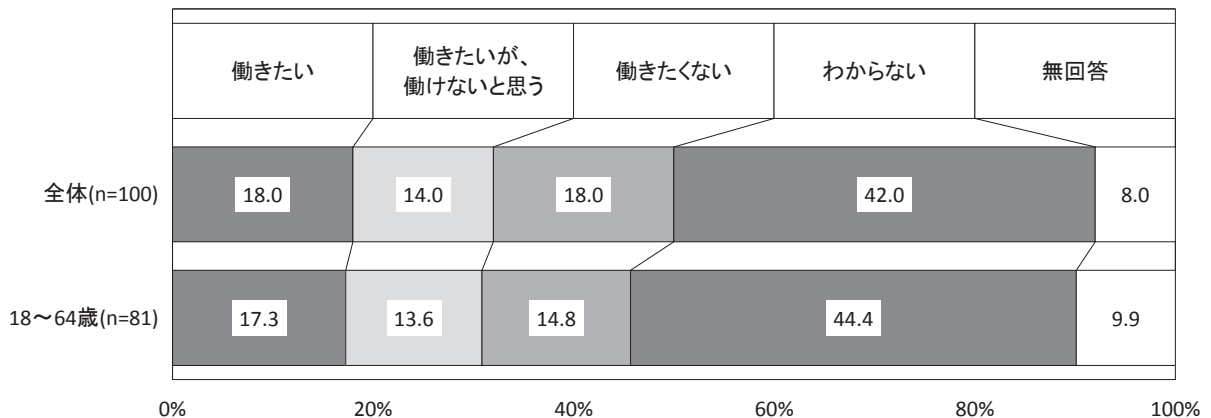
診断名別にみると、統合失調症、うつ病・躁うつ病と診断されている人では就労意向のある人は、5割を超えている。また、発達障害と診断されている人では80.0%となっている。

年齢別にみると、18～64歳では就労意向のある人が64.4%となっている。



### 【施設入所者】

年齢別にみると、18～64歳では就労意向のある人が30.9%となっている。





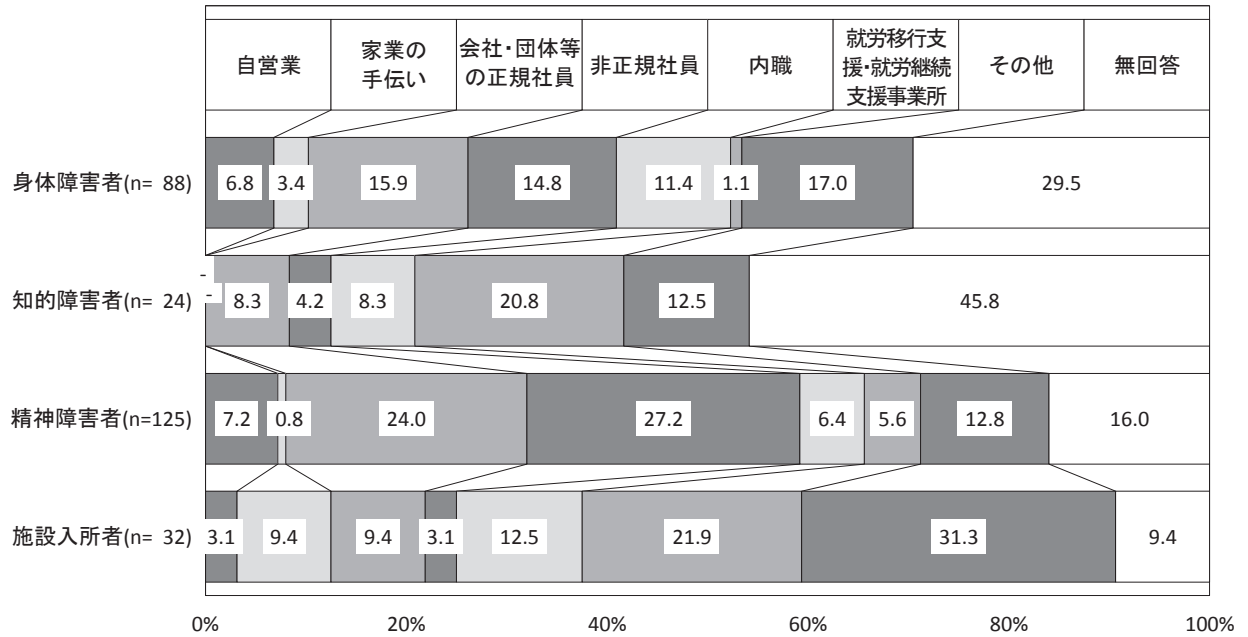
## ② 働いてみたいと思う仕事の形態

今後の就労意向で“働きたい”“働きたいが、働けないと思う”と回答した人の希望する仕事の形態は、身体障害者では「会社・団体等の正規社員」が15.9%、「非正規社員」が14.8%となっている。

知的障害者では、「就労移行支援・就労継続支援事業所」が最も多く20.8%である。

精神障害者では、「非正規社員」が最も多く27.2%、次いで「会社・団体等の正規社員」が24.0%で続いている。

施設入所者では、「就労移行支援・就労継続支援事業所」が最も多く21.9%である。



※ベース：就労意向あり

## 【前回調査との比較】

(単位：%)

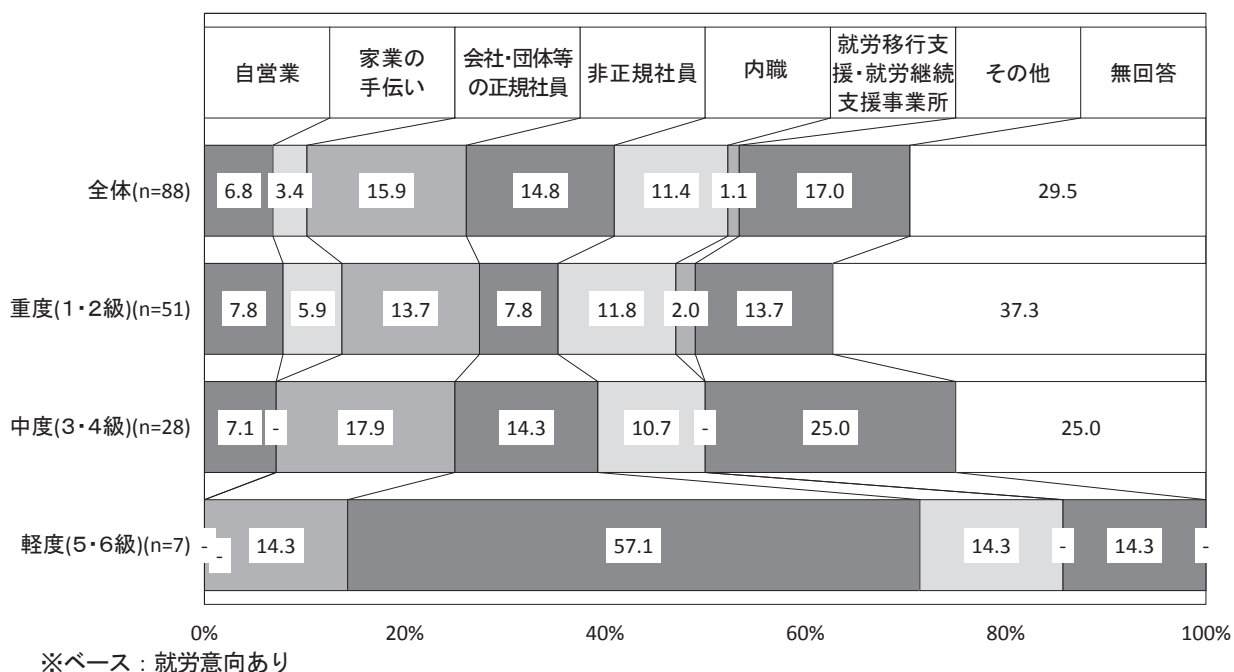
区 分		1 位	2 位	3 位
身 体 障 害 者	今 回 (n=88)	会社・団体等の正規社員 (15.9)	非正規社員 (14.8)	内職 (11.4)
	前 回 (n=506)	非正規社員 (18.8)	自営業 (10.7)	内職 (9.7)
知 的 障 害 者	今 回 (n=24)	就労移行支援・就労継続支援事業所 (20.8)	その他 (12.5)	内職 (8.3)
	前 回 (n=90)	会社・団体等の正規社員 (31.1)	就労移行支援・就労継続支援事業所 (26.7)	非正規社員 (4.4)
精 神 障 害 者	今 回 (n=125)	非正規社員 (27.2)	会社・団体等の正規社員 (24.0)	自営業 (7.2)
	前 回 (n=152)	非正規社員 (29.6)	会社・団体等の正規社員 (17.1)	就労移行支援・就労継続支援事業所 (12.5)
施 設 入 所 者	今 回 (n=32)	就労移行支援・就労継続支援事業所 (21.9)	内職 (12.5)	会社・団体等の正規社員 家業の手伝い(ともに9.4)
	前 回 (n=53)	就労移行支援・就労継続支援事業所 (43.4)	会社・団体等の正規社員 (9.4)	非正規社員 (7.5)

※ベース：就労意向あり

### 【身体障害者】

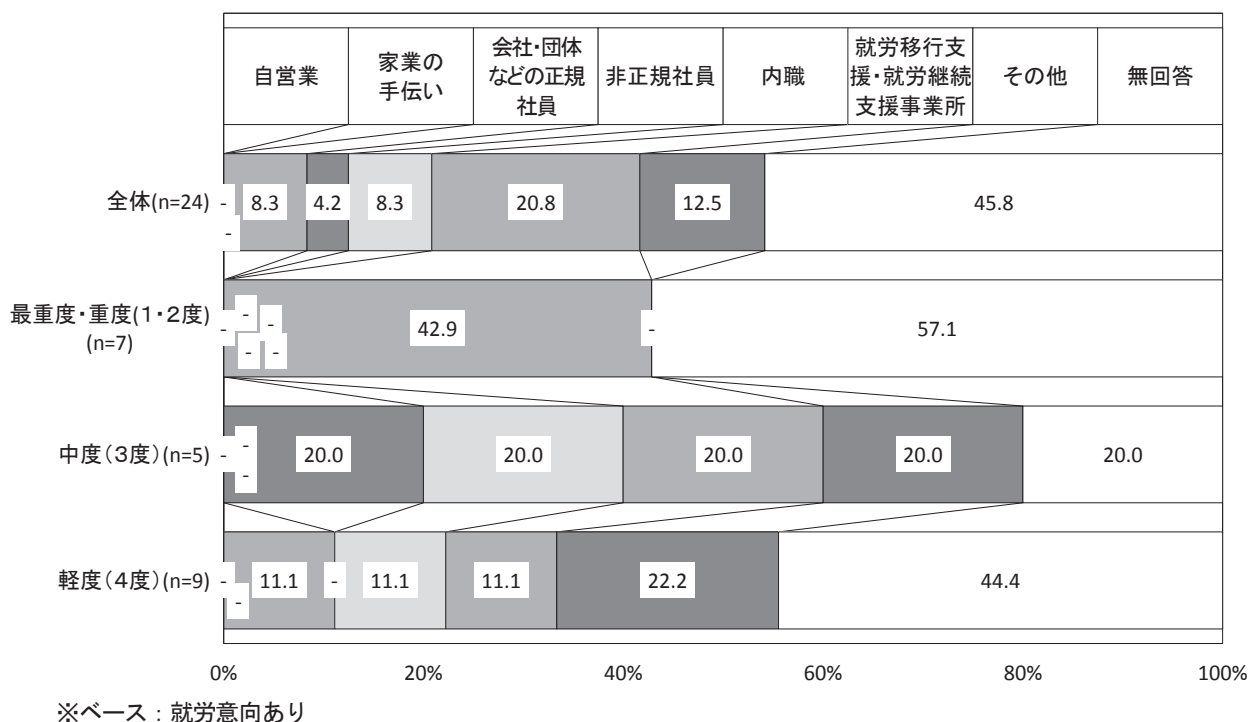
障害の程度別にみると、重度（1・2級）では「会社・団体等の正規社員」「その他」がともに13.7%になっている。

働いてみたいと思う仕事の形態



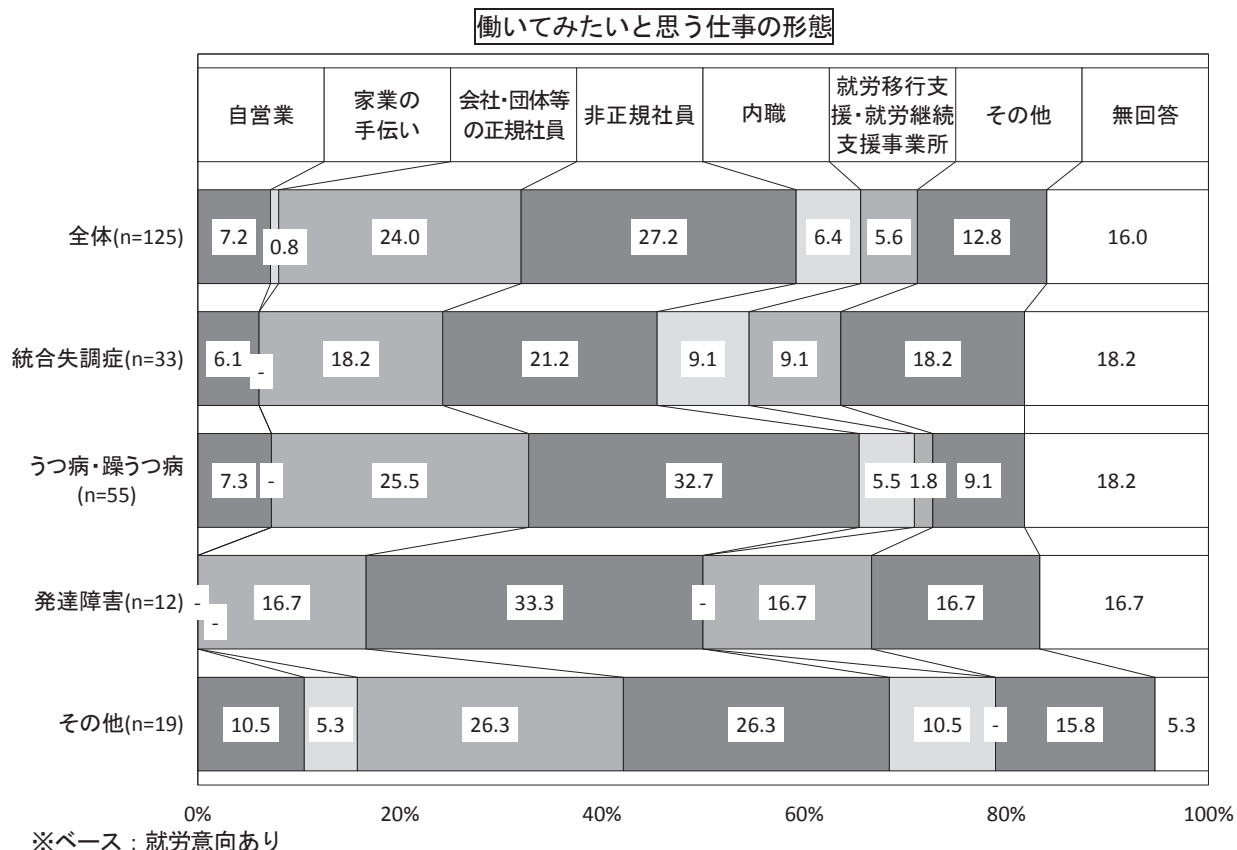
### 【知的障害者】

障害の程度別にみると、最重度・重度（1・2度）では「就労移行支援・就労継続支援事業所」が42.9%になっている。



## 【精神障害者】

診断名別にみると、統合失調症、うつ病・躁うつ病と診断されている人では「会社・団体等の正規社員」（それぞれ 18.2%、25.5%）、「非正規社員」（それぞれ 21.2%、32.7%）が多くなっている。



## (6) 働いていない理由（複数回答）

現在働いていない人の「働いていない理由」は、身体障害者では「体調がよくないから」が最も多く 27.0%、次いで「通勤が難しいから」が 10.3%となっている。

知的障害者では、「仕事が難しそうだから」が最も多く 15.4%、次いで「体調がよくないから」が 14.1%で続いている。

精神障害者では、「体調がよくないから」が最も多く 41.7%、次いで「職場の理解が得られないと思うから」が 20.2%となっている。

難病患者では、「病状がよくないから」が最も多く 29.3%、次いで「仕事をするということ自体が難しそうだから」が 15.2%となっている。

(単位：%)

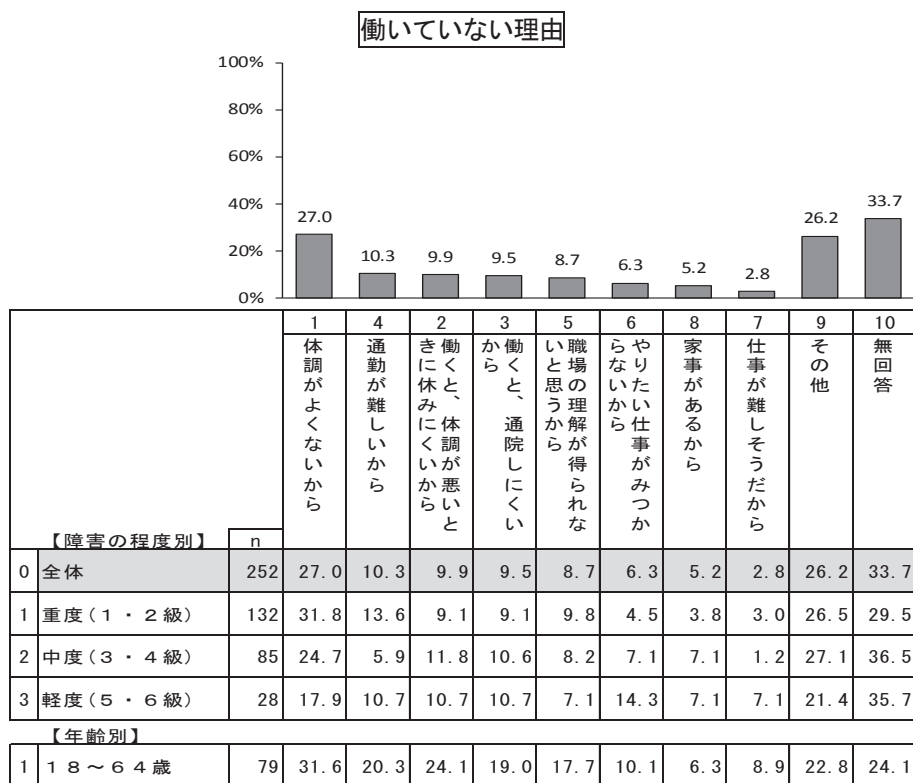
区分	身体障害者 (n=252)	知的障害者 (n=78)	精神障害者 (n=228)	難病患者 (n=191)
体調がよくないから	27.0 (1位)	14.1 (2位)	41.7 (1位)	29.3 (1位)
働くと、体調が悪いときに休みにくいから	9.9 (3位)	3.8	18.0 (3位)	7.3
働くと、通院しにくいから	9.5	2.6	12.3	3.7
通勤が難しいから	10.3 (2位)	6.4	12.7	2.1
職場の理解が得られないと思うから	8.7	9.0 (3位)	20.2 (2位)	1.6
やりたい仕事が見つからないから	6.3	5.1	13.6	3.7
仕事が難しそうだから	2.8	15.4 (1位)	14.9	15.2 (2位)
家事があるから	5.2	5.1	7.5	11.5 (3位)
その他	26.2	32.1	27.2	18.3
無回答	33.7	35.9	19.7	7.3

(注) 身体障害者、知的障害者、精神障害者は複数回答であり、難病患者は単数回答である。

※ベース：非就労者

## 【身体障害者】

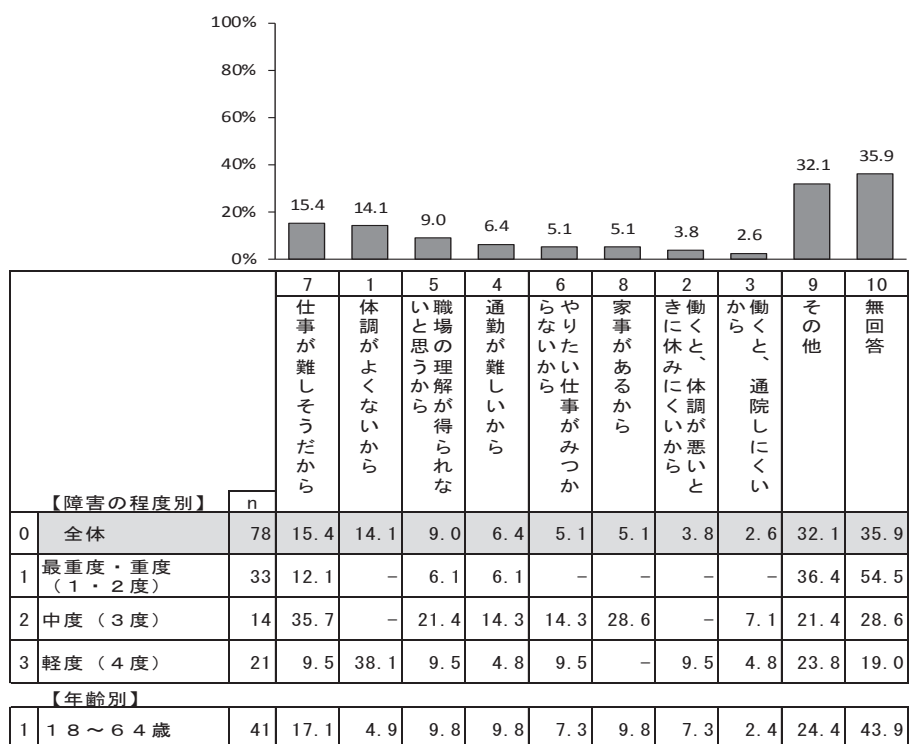
障害の程度別にみると、重度（1・2級）の人ほど「体調がよくないから」が多くなっている。年齢別にみると、18～64歳では「働くと、体調が悪いときに休みにくいから」も多くなっている（24.1%）。



※ベース：非就労者

## 【知的障害者】

障害の程度別にみると、最重度・重度（1・2度）と中度（3度）で「仕事で難しそうだから」の割合が多くなっている。年齢別にみると、18～64歳では全体とほぼ同様の傾向を示している。

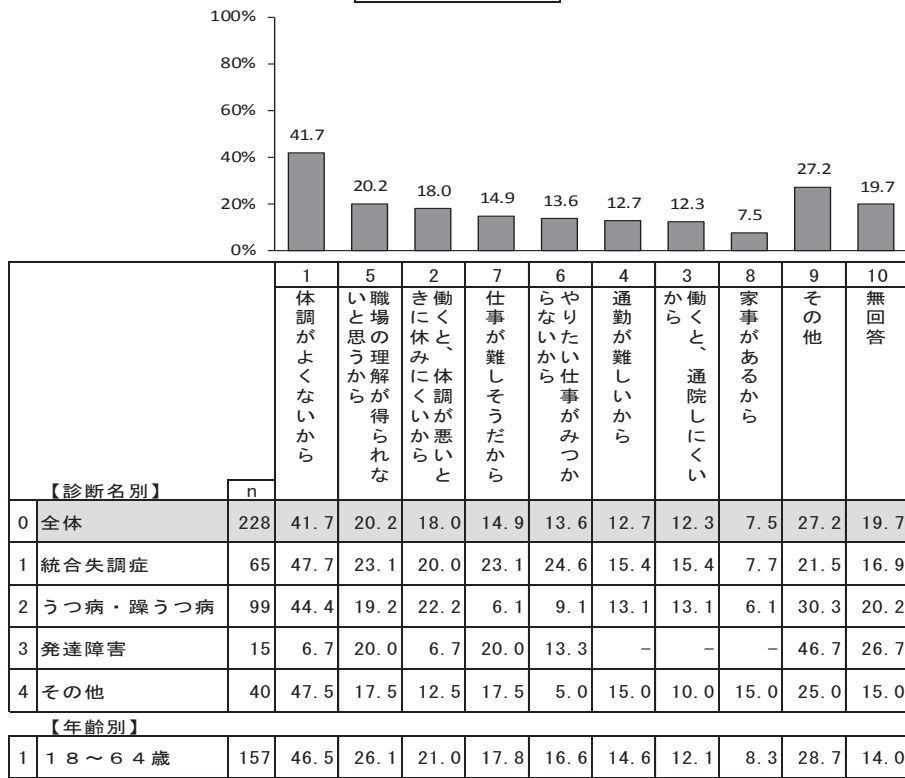


※ベース：非就労者

## 【精神障害者】

診断名別にみると、統合失調症、うつ病・躁うつ病と診断されている人では「体調がよくないから」が多くなっている。年齢別にみると、18～64歳では「体調がよくないから」が多くなっている。

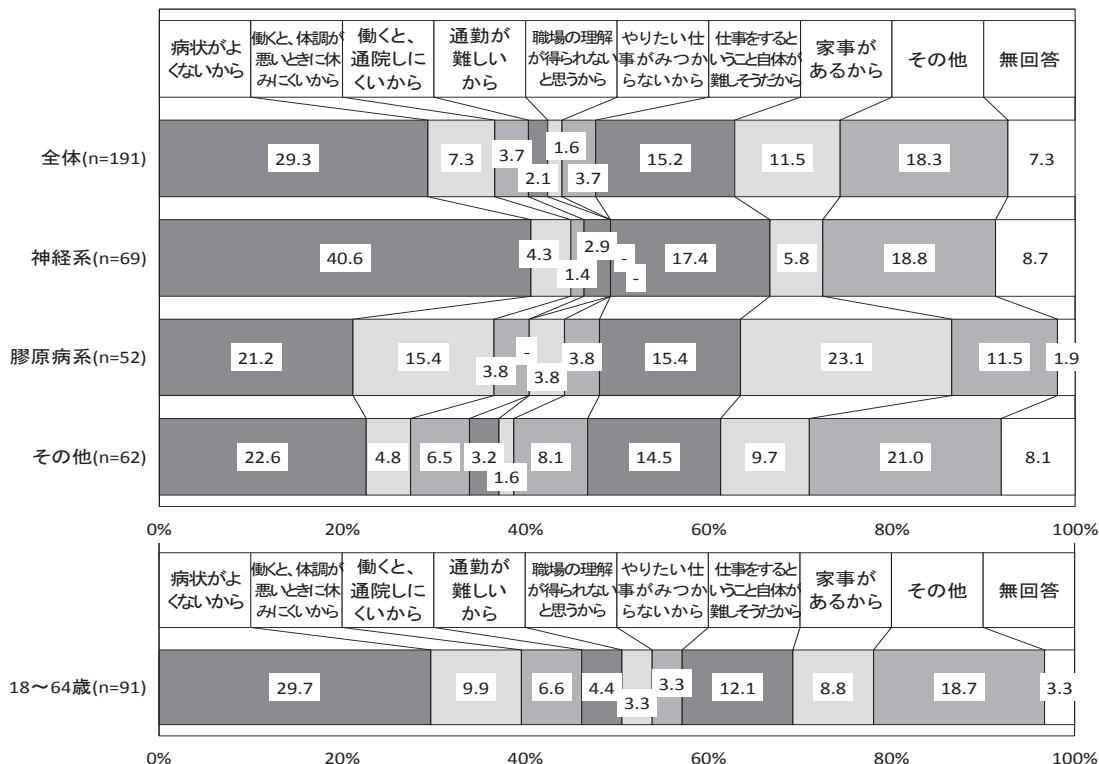
働いていない理由



※ベース：非就労者

## 【難病患者者】

疾病系統別にみると、神経系では「病状がよくないから」が多くなっている。年齢別にみると、18～64歳では、同様に「病状がよくないから」が多くなっている。



※ベース：非就労者

## (7) 働きたいが働けない理由（自由回答）（施設入所者のみ）

主な意見は、次のとおりである。

- ・足が思うように動かない、体がいうことをきかない。
- ・職場でのコミュニケーションが難しい。
- ・仕事をする上で障害をカバーする環境がない。

## (8) 働くために整っていることが大切だと思う環境（複数回答）

障害のある人が働くために大切な環境としては、身体障害者、知的障害者、精神障害者、施設入所者では、「事業主や職場の人たちが、障害者雇用について十分理解していること」が最も多く、難病患者では、「健康状態にあわせた働き方ができること」が最も多くなっている。

(単位：%)

区 分	身体障害者 (n=558)	知的障害者 (n=248)	精神障害者 (n=434)	難病患者 (n=346)	施設入所者 (n=100)
自分の家の近くに働く場があること	38.2	50.4 (3位)	40.3	36.1	22.0
自分の家の中で、通勤することなく働けること	18.3	6.0	18.4	26.9	12.0
健康状態にあわせた働き方ができること	42.5 (3位)	27.4	54.6 (2位)	61.6 (1位)	32.0
障害のある人（精神疾患のある方/難病の方）にあった仕事を用意されること	45.7 (2位)	57.3 (2位)	45.4 (3位)	41.9 (3位)	39.0 (2位)
就労支援機関が充実していること	19.7	35.1	27.4	19.1	16.0
生活支援・余暇支援が充実していること	20.3	37.1	30.9	23.1	20.0
事業主や職場の人たちが、障害者雇用について十分理解していること	46.4 (1位)	59.3 (1位)	56.7 (1位)	43.6 (2位)	42.0 (1位)
職場の施設や設備が障害のある人にも利用できるように配慮されていること	30.3	31.5	26.7	24.6	34.0 (3位)
ジョブコーチの支援を受けながら働けること	15.8	31.5	22.1	13.6	20.0
同じような障害のある仲間と一緒に、あるいは交替で働けること	17.7	36.3	18.2	10.7	23.0
その他	2.9	2.4	4.4	7.5	1.0
わからない	9.1	7.7	11.1	8.4	29.0
無回答	17.0	12.9	8.8	5.5	8.0

### 【前回調査との比較】

(単位：%)

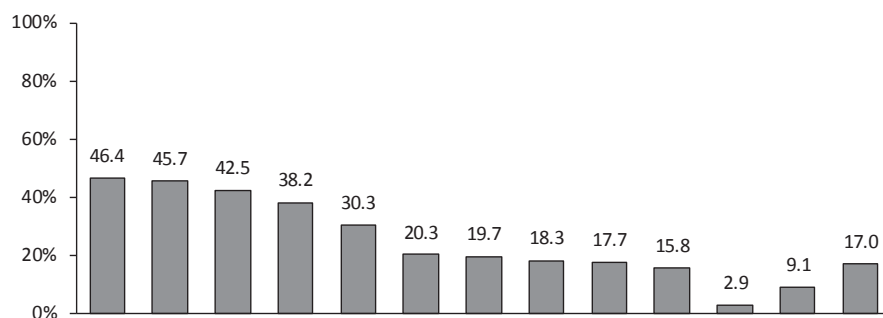
区 分		1 位	2 位	3 位
身 体 障 害 者	今 回 (n=558)	事業主や職場の人たちが、障害者雇用について十分理解していること (46.4)	障害のある人にあつた仕事 が用意されること (45.7)	健康状態にあわせた働き方 ができること (42.5)
	前 回 (n=2,064)	健康状態にあわせた働き方 ができること (43.0)	自分の家の近くに働く場 があること (36.4)	事業主や職場の人たちが、障 害者雇用について十分理解 していること (36.0)
知 的 障 害 者	今 回 (n=248)	事業主や職場の人たちが、障 害者雇用について十分理解 していること (59.3)	障害のある人にあつた仕事 が用意されること (57.3)	自分の家の近くに働く場が あること (50.4)
	前 回 (n=350)	事業主や職場の人たちが、障 害者雇用について十分理解 していること (48.0)	障害のある人にあつた仕事 が用意されること (44.9)	就労支援機関が充実してい ること (41.4)
精 神 障 害 者	今 回 (n=434)	事業主や職場の人たちが、障 害者雇用について十分理解 していること (56.7)	健康状態にあわせた働き方 ができること (54.6)	障害のある人にあつた仕事 が用意されること (45.4)
	前 回 (n=311)	健康状態にあわせた働き方 ができること (57.6)	事業主や職場の人たちが、障 害者雇用について十分理解 していること (45.3)	自分の家の近くに働く場が あること (42.8)
施 設 入 所 者	今 回 (n=100)	事業主や職場の人たちが、障 害者雇用について十分理解 していること (42.0)	障害のある人にあつた仕事 が用意されること (39.0)	職場の施設や設備が使いや すいになっていること (34.0)
	前 回 (n=94)	障害のある人にあつた仕事 が用意されること (52.1)	健康状態にあわせた働き方 ができること (43.6)	就労支援機関が充実してい ること (39.4)

## 【身体障害者】

障害の程度別にみると、重度（1・2級）では「障害のある人であった仕事が用意されること」（48.5%）が最も多い。

障害の種類別にみると、聴覚障害では「事業主や職場の人たちが、障害者雇用について十分理解していること」（52.2%）、肢体不自由（上肢、下肢等）、肢体不自由（体幹）では「障害のある人であった仕事が用意されること」（それぞれ59.4%、52.1%）、内部障害では「健康状態にあわせた働き方ができること」（52.2%）がそれぞれ最も多い。

就労のために大切だと思う環境



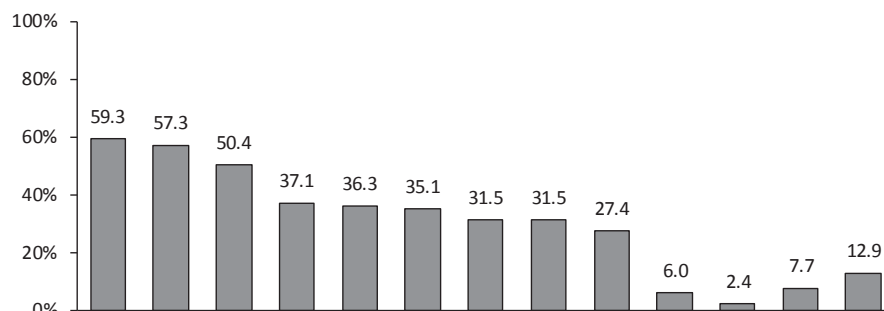
【障害の程度別】	n	7	4	3	1	8	6	5	2	10	9	11	12	13
		い事業主や職場の人たちが、障害者雇用について十分理解していること	と障害のある人であった仕事が用意されること	健康状態にあわせた働き方ができること	自分の家の近くに働く場があること	で職場の施設や設備が障害のある人にも利用できること	生活支援・余暇支援が充実していること	就労支援機関が充実していること	こと自分の家の中で、通勤することなく働けること	いは交差で働けること	同じような障害のある仲間と一緒に、あること	とジョブコーチの支援を受けながら働けること	その他	わからない
0 全体	558	46.4	45.7	42.5	38.2	30.3	20.3	19.7	18.3	17.7	15.8	2.9	9.1	17.0
1 重度（1・2級）	307	47.2	48.5	42.0	38.8	34.5	20.2	20.2	19.9	20.2	17.3	2.0	10.1	15.6
2 中度（3・4級）	173	47.4	43.4	46.2	37.6	26.6	23.1	23.1	19.7	14.5	16.8	4.6	8.7	15.6
3 軽度（5・6級）	63	42.9	39.7	41.3	38.1	25.4	15.9	11.1	11.1	15.9	7.9	3.2	7.9	19.0

【障害の種類別】		7	4	3	1	8	6	5	2	10	9	11	12	13	
1	視覚障害	89	41.6	40.4	31.5	39.3	31.5	13.5	16.9	18.0	15.7	14.6	4.5	10.1	21.3
2	聴覚障害	92	52.2	50.0	30.4	28.3	31.5	10.9	17.4	9.8	20.7	16.3	1.1	12.0	16.3
3	平衡機能障害	2	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0
4	音声・言語・そしゃく機能の障害	18	50.0	44.4	33.3	38.9	5.6	22.2	22.2	27.8	16.7	5.6	11.1	11.1	11.1
5	肢体不自由（上肢、下肢等）	138	56.5	59.4	50.7	42.8	42.0	32.6	27.5	26.8	21.0	22.5	2.9	7.2	10.1
6	肢体不自由（体幹）	48	47.9	52.1	45.8	37.5	41.7	27.1	20.8	25.0	31.3	16.7	2.1	8.3	14.6
7	内部障害	136	39.7	34.6	52.2	39.7	20.6	16.9	16.2	12.5	11.8	11.0	2.2	8.1	15.4
8	その他	14	14.3	28.6	42.9	42.9	14.3	21.4	14.3	28.6	14.3	14.3	-	14.3	50.0

## 【知的障害者】

障害の程度別にみると、最重度・重度（1・2度）では、「仕事の内容が障害のある人にあっていること」、中度（3度）、軽度（4度）では「事業主や職場の人たちが、障害のある人と働くことについて十分わかってきていること」が最も多くなっている。

就労のために大切だと思う環境



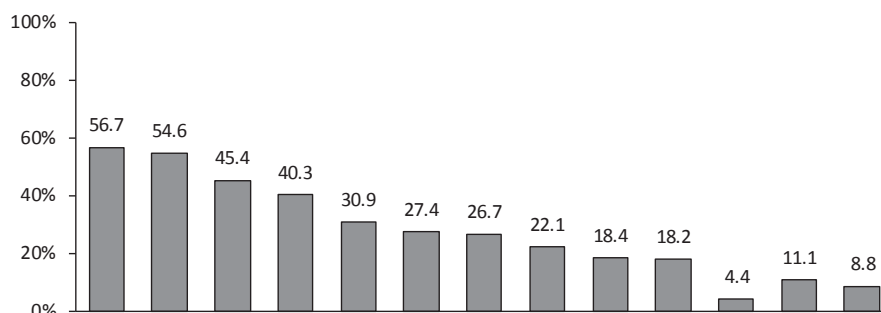
【障害の程度別】	n	7	4	1	6	10	5	8	9	3	2	11	12	13
		事業主や職場の人たちが、障害のある人と働くことについて十分わかってきていること	仕事の内容が障害のある人にあっていること	家の近くに働くところがあること	生活支援・余暇支援が充実していること	同じような障害のある仲間と仕事を分け合ったり、交代で働くなど、無理なく働けること	就労支援をおこなうところが充実していること	職場の施設や設備が使いやすいようになったこと	ジョブコーチの支援を受けながら働けること	からだの調子にあわせて働けること	通勤はしないで、家の中で働けること	その他	わからない	無回答
0 全体	248	59.3	57.3	50.4	37.1	36.3	35.1	31.5	31.5	27.4	6.0	2.4	7.7	12.9
1 最重度・重度 (1・2度)	76	55.3	57.9	51.3	47.4	32.9	35.5	35.5	31.6	26.3	3.9	5.3	5.3	19.7
2 中度 (3度)	65	69.2	64.6	61.5	36.9	43.1	30.8	30.8	32.3	29.2	4.6	1.5	4.6	7.7
3 軽度 (4度)	94	61.7	55.3	46.8	34.0	38.3	41.5	31.9	34.0	28.7	9.6	1.1	7.4	8.5



## 【精神障害者】

診断名別にみると、統合失調症と診断されている人では全体とほぼ同様の傾向を示している。うつ病・躁うつ病と診断されている人では「健康状態にあわせた働き方ができること」（62.0%）、発達障害と診断されている人では「事業主や職場の人たちが、精神疾患のある方の雇用について十分理解していること」（75.7%）がそれぞれ最も多くなっている。

就労のために大切だと思う環境

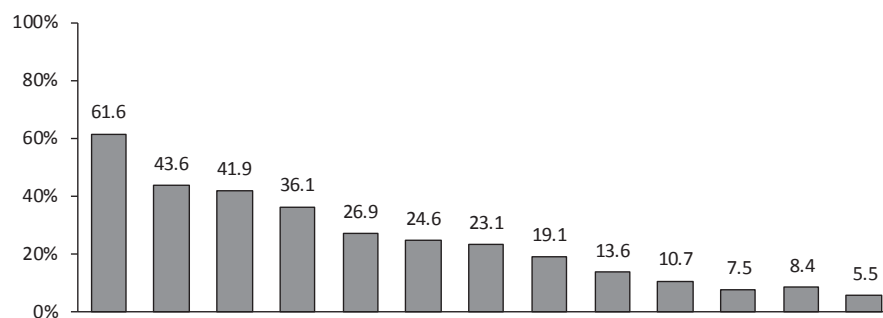


【診断名別】	n	7	3	4	1	6	5	8	9	2	10	11	12	13
		の事業主や職場の人たちが、精神疾患のある方の雇用について十分理解していること	健康状態にあわせた働き方ができること	精神疾患のある方にあつた仕事が用意されること	自分の家の近くに働く場があること	生活支援・余暇支援が充実していること	就労支援機関が充実していること	職場の施設や設備が精神疾患のある方にも利用できるように配慮されていること	と	ジョブコーチの支援を受けながら働けること	自分の家の中で、通勤することなく働けること	同じような精神疾患のある仲間と一緒に、あるいは交替で働けること	その他	わからない
0 全体	434	56.7	54.6	45.4	40.3	30.9	27.4	26.7	22.1	18.4	18.2	4.4	11.1	8.8
1 統合失調症	97	52.6	51.5	48.5	49.5	28.9	23.7	26.8	22.7	21.6	24.7	5.2	13.4	7.2
2 うつ病・躁うつ病	163	53.4	62.0	39.9	39.3	28.8	22.7	23.3	17.8	20.2	14.7	3.7	11.7	8.0
3 発達障害	70	75.7	44.3	55.7	30.0	37.1	48.6	40.0	35.7	11.4	17.1	5.7	5.7	4.3
4 その他	84	59.5	60.7	47.6	45.2	35.7	26.2	25.0	22.6	21.4	21.4	4.8	11.9	7.1

## 【難病患者】

疾病系統別にみると、いずれも「健康状態にあわせた働き方ができること」が最も多くなっている。

就労のために大切だと思う環境



【疾病系統別】	n	3	7	4	1	2	8	6	5	9	10	11	12	13
		健康状態にあわせた働き方ができること	に事業主や職場の人たちが、難病の方の雇用に十分理解していること	難病の方の健康状態にあった仕事を用意されること	自分の家の近くに働く場があること	自分の家の中で、通勤することなく働けること	職場の施設や設備が、難病の方に利用しやすいように配慮されていること	生活支援・余暇支援が充実していること	就労支援機関が充実していること	ジョブコーチの支援を受けながら働けること	同じような健康状態の方と一緒に、あるいは交替で働けること	その他	わからない	無回答
0 全体	346	61.6	43.6	41.9	36.1	26.9	24.6	23.1	19.1	13.6	10.7	7.5	8.4	5.5
1 神経系	100	53.0	38.0	41.0	32.0	31.0	27.0	20.0	17.0	15.0	12.0	7.0	13.0	7.0
2 膠原病系	111	67.6	45.9	42.3	34.2	24.3	18.0	26.1	20.7	14.4	6.3	8.1	5.4	2.7
3 その他	123	64.2	48.0	43.1	40.7	26.0	27.6	21.1	17.1	10.6	13.0	6.5	6.5	7.3